

1. はじめに

主事業である「おもしろ科学体験塾」は、参加人数が前年度をやや下回ったものの、「小3親子ペア」の実施により堅調に推移しました。一方、材料費や交通費の増加などにより約96万円の赤字となりましたが、東京応化科学技術振興財団の継続助成や皆さまのご協力に支えられ、地域社会に貢献する活動を継続することができました。

また、認定NPO法人の期間延長審査を受け、2030年11月30日まで認定が延長されました。

2. おもしろ科学たんけん工房の目的

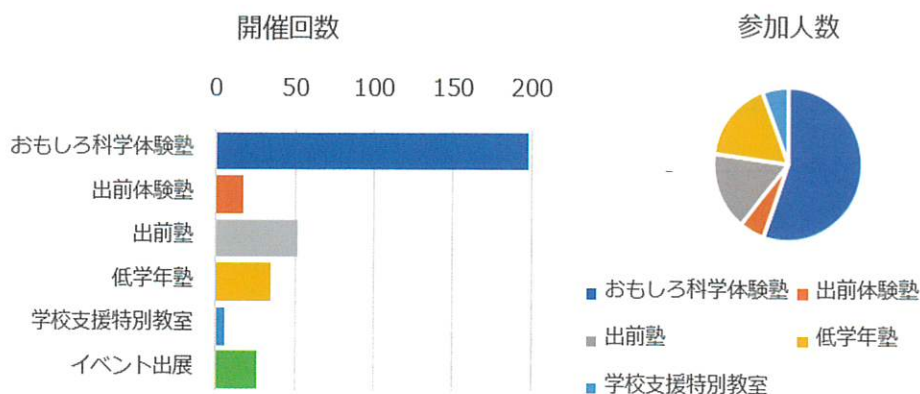
「科学する楽しさと、手作りで何かを完成する喜びを体で感じてほしい」を合言葉に、「おもしろ科学実験」「手作り工作」「野外自然観察」などの体験活動を行っています。

これらの活動を通じて、子どもたちや地域の皆さんの自発性・創造性を育み、社会教育の推進、子どもの健全育成、地域コミュニティづくりに貢献することを目的としています。

3. 体験を通した「自発性・創造性」の育成

当法人では、科学体験を通して子どもたちの自発性・創造性を育む活動を行っています。

主活動である「おもしろ科学体験塾」は198回開催し、延べ2,632名が参加しました。内、「小3親子ペア」の参加者は151回に及び、516組が参加するなど、親子で学べる活動として定着してきました。2024年度から開始した川崎地区での体験塾実施活動も継続しています。



おもしろ科学体験塾「ヘロンの噴水」

出前体験塾や工作教室等は、地域施設からの要望に応じて実施し、出前体験塾 18 回 259 名、工作教室等 52 回 784 名が参加しました。横浜東・北 2 地区で実施しました低学年向け「キッズ支援」は 35 回 815 名、科学クラブなどの学校支援は 6 回 269 名、藤沢市中学生向け模型飛行機教室には 195 名が参加しました。

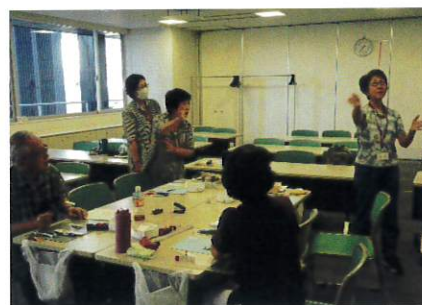
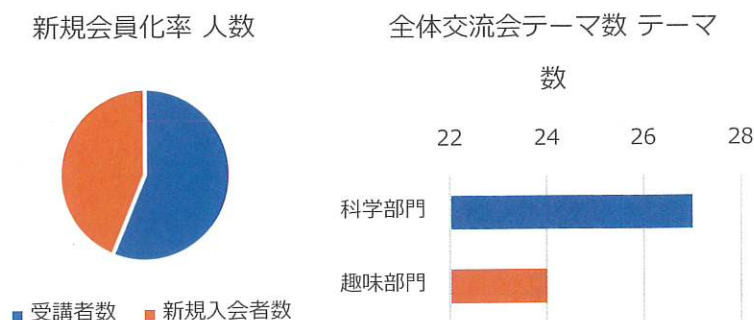
また、科学イベントへの出展も 26 回行い、延べ 3,885 名が参加しました。地域の多くの子どもたちに科学の楽しさを伝える機会となりました。

4. 社会教育の推進と地域コミュニティづくり

当法人では、体験塾の実施に加え、会員がスタッフとして活動に参加することで、社会教育や地域交流の推進を図っています。

理科推進スタッフ体験講座は 3 回開催し、18 名が受講、そのうち 14 名が新規入会につながりました。

また、会員同士の交流を深める全体交流会では、「趣味と科学で交流を（はてなからガッテンへ）」をテーマに、科学部門 27 テーマ、趣味部門 24 テーマの展示を実施しました。会員 92 名、一般 15 名、合計 107 名が参加し、交流や情報交換が活発に行われました。



工具の使い方研修「ストロートンボが飛んだ！」

5. 2026 年度へ向けて

今後は、事業収支改善を図りながら、新テーマの開発や川崎地区・藤沢地区周辺への活動拡大を進めていきます。

また、募集案内についても、学校配布チラシに加え、「すぐる」やメール配信などを活用し、より多くの子どもたちに参加してもらえよう取り組んでいきます。

なお、詳細は、2025 年度の通常総会報告事項及び審議事項をご参照ください。

報告事項

第 1 号議案 2025 年度事業報告

審議事項

第 2 号議案 決算承認の件

第 3 号議案 事業計画案承認の件

第 4 号議案 活動予算案承認の件

第 5 号議案 役員人事の件（敬略略）

